



令和 8 年 6 月 4 日
日立市消防本部総務課

防火服の“廃棄ほぼゼロ”を目指します！！
最終端材を再利用した「火の用心のくまヒノカミベアー」の誕生



企業と障がい者施設が連携した「循環型アップサイクルモデル」の開始

日立市消防本部は、防火服の「廃棄ほぼゼロ」の実現を目指すため、アップサイクル製品の製作過程で生じる最終端材を再利用して「火の用心のくまヒノカミベアー」を製作する取組を開始しました。本取組は、消防本部、地域企業及び障がい者施設との連携により実現を目指すものであり、環境配慮、障がい福祉、地域連携を融合した「循環型アップサイクルモデル」として展開するものです。取材及び記事掲載について御配慮くださいますようお願いいたします。

記

1 これまでの取組

日立市消防本部では、廃棄予定となった防火服等をアップサイクルする取組として、令和7年度から以下の取組を展開してきました。

(1) 防火服を活用したバッグ等の製作

- ア 廃棄予定の防火服を素材として、トートバッグを製作、その後、端材を活用したサコッシュを製作し、ふるさと納税返礼品等として展開中です。
- イ 地域企業と連携し、環境負荷の軽減等を目的にアップサイクル製品の製作販売を実施しています。



▲ 廃棄予定の防火服からトートバッグにアップサイクル（一次アップサイクル）

▲ トートバッグ製作過程で生じた端材を活用し製作したサコッシュ（二次アップサイクル）

(2) 活動服等を活用したぬいぐるみ「火の用心のくまヒノカミベアー」の製作

障がい者施設と連携し、廃棄予定の活動服、救急服及び救助服を素材として、「火の用心のくまヒノカミベアー」の製作販売を行い、防火啓発及び施設利用者の工賃向上に寄与する取組を継続しています。



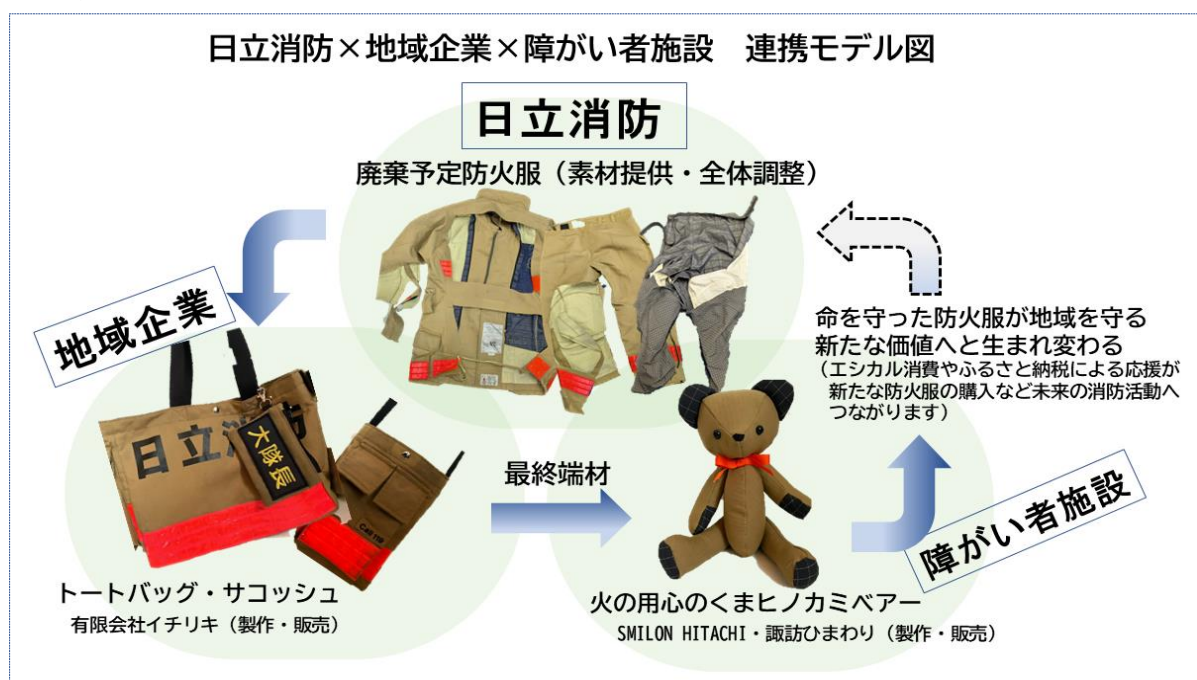
▲ 廃棄予定の消防活動用被服（活動服、救急服、救助服等）からくまのぬいぐるみ「火の用心のくまヒノカミベアー」にアップサイクル

2 新たな展開（今回のポイント）

- (1) バッグ、サコッシュの製作過程で発生する最終端材を活用し、くまのぬいぐるみ「火の用心のくまヒノカミベアー」へと再アップサイクルする取組を開始しました。

これにより、廃棄予定の防火服 → バッグ・サコッシュを製作 → → → 最終端材を廃棄せずヒノカミベアーに生まれ変わる といった流れを構築し、防火服の廃棄を可能な限り「ゼロ」に近づけることを目指していきます。

- (2) 連携体制・循環モデル図



3 今後の展開

消防本部、地域企業及び障がい者施設が連携した本取組を通じて、「命を守った防火服が、次は地域を守る新たな価値へと生まれ変わる」というような「循環」の実現を目指していきます。

- (1) 防火啓発活動への活用
- (2) 消防士が実際に使用した防火服等が持つストーリー性を活かした広報の強化
- (3) バッグとヒノカミベアーのセット展開（ふるさと納税等）

4 取材可能な内容

- (1) 防火服のアップサイクル「トートバッグ、サコッシュ」の製作に関する取材
「有限会社イチリキ」担当：大谷 電話：0294-35-2711 E-mail:ichiriki@if-n.ne.jp
- (2) 「火の用心のくまヒノカミベアー」の製作に関する取材（現地取材を含む）
「SMILON HITACHI」担当：大畑 電話：0294-32-5361 E-mail:oohata.y-smilon@ldot1.jp
- (3) 本取組内容全般に関する取材
下記担当までお問合せください。

日立消防 アップサイクル
地域の未来を守る



URL : https://www.city.hitachi.lg.jp/shobo/shobo_gyoji/1020069.html

【問合せ】日立市消防本部総務課（担当 鈴木、佐々木）

TEL 0294 - 24 - 0119（内線 311）E-mail:hfd-somu1@city.hitachi.lg.jp